

(世界史プリント 8-3)

第 1 4 章アジアの「近代化」 1. オスマン帝国支配の動揺とアラブの覚醒

a. オスマン帝国の動揺 (p246)

13 世紀末に[1]]で成立した[2]]民族のイスラム教国 (P199)
 →しだいに[3]]半島へ進出→ 14 世紀末にはほぼ半島全土を占領

1402 年[4]]の戦いでティムールに敗れ、一時弱体化→しだいに立て直す

1453 年[5]] 帝国を滅ぼす=コンスタンティノープルを[6]]と改称
 メフメト 2 世

1517 年エジプトの[7]]朝を倒し地中海東岸・北アフリカを併合
 セリム 1 世 →メッカ・メディナの保護権獲得=イスラム世界の中心となる

16 世紀前半[8]]のとき全盛
 ・ウィーン包囲、・地中海の覇権獲得(プレヴェザ海戦)

1571 年 [9]] の海戦での敗北→以後、没落

- ① 1683 年の第 2 次[10]]の失敗以降、弱体化進む
 ↓
- ② 1699 カロヴィッツ条約…[11]]に[12]]トランシルヴァニアを割譲
 18 世紀初…[13]]・オーストリアに黒海沿岸やバルカンの一部を奪われる
- ③ 18 世紀後半、イギリス産業革命の発生→植民地を求めてインド洋に進出
- ④バルカン民族の独立、エジプト・アラビアの離反の動きの高まり→領土の縮小進む

b. アラブ民族の覚醒 (p247)

- ① 18 世紀半ば アラビア半島でムハンマド・ワハブ→イスラム改革運動を起こす
 = [14]]派の運動をおこす→アラブ民族主義の復興へ(→イスラム原理主義へ)
- ②アラビアの豪族[15]]家と結んで[16]]王国建国(1744 ころ)
 → 1818、ムハンマド・アリーにより一時滅ぼされる
- ③イギリス、[17]]協定で独立を約束する
- ①[18]]、イギリスの援助で独立をめざす
 →ヒジャース王国のフサインをおさえヒジャース=ネジト王国成立
 → 1932[19]]建設

c. エジプトの動き

- ①[20]]、ナポレオンのエジプト遠征への戦いの中で台頭=エジプト支配確立
 アルバニア出身 艦兵隊長 → 1806 スルタンに[21]]の称号を認めさせる

- ・フランスの援助で近代化改革の実施→近代的軍隊の創始、近代工場建設、綿花栽培の奨励、
 鉄道設置、[22]]の開削など
- ・ 1818 ワッハーブ王国を滅ぼす。

- ・ シリア領有を主張、フランスの援助のもとに、[23]]と結んだトルコと戦う
 (エジプト=トルコ戦争 1831 ~ 33, 1839 ~ 40)→イギリスの介入で挫折

- ④ 1860 年代 多額の債務超過→国家財政の破綻、イギリス・フランスの財務管理下に
- ⑤ 1881 ~ 82 [24]]の反乱、新憲法の制定・「エジプト人のためのエジプト」
 →イギリスに軍事占領され、1914 年以後はイギリスの保護国にされる
- ⑥第一次大戦後、[25]]党を中心とした民族運動活発化 (p301)
 ↓
- ⑦ 1922[26]]として独立達成。ただし[27]]地帯への英軍の駐留続く

d. トルコの改革 (p249)

- ① 19 世紀前期 アムフト 2 世の改革=大土地所有者をおさえスルタンの権限強化
- ② 19 世紀中期 (1839 ~ 76) アブデュル=メジト 1 世 [28]] (恩恵的改革) 実施
 「上から」西欧的司法・行政・財政・軍事制度導入をめざす改革
 →ヨーロッパの工業製品の流入により土着産業の崩壊進む
- ③[29]]戦争後、立憲運動活発化
 → 1876 宰相ミトハト=パシャにより[30]]発布=立憲君主国化
 → 1877 スルタン、[31]]戦争の発生を口実に憲法の停止、スルタン専制政治復活
 → 1878 ベルリン条約でヨーロッパの領土の大半を失う
- ④ 1908 [32]]革命=ミトハト憲法の復活実現
- ⑤第一次大戦では[33]]側で英仏などと戦う

第 1 次大戦中のトルコ領をめぐる混乱

- 1915 [34]]宣言=英、アラブ人国家の樹立を約束
- 1916 [35]]条約=中東地区における英、仏、露の分割占領を決める
- 1917 バルフォア宣言=英、パレスティナ地区における[36]]国家建設を約束
 ↓
 パレスティナ問題の発生へ
 [37]]運動のたかまり=ユダヤ人のパレスティナ移住
 →アラブ系住民との対立

